

「2026 年度 JSCA 建築構造士定期講習会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
建築構造士制度委員会

2025 年度の定期講習会では、「構造設計 いま、このさき」をテーマとして企画し、大阪・関西万博の大屋根リングをはじめ、BIM による確認申請や AI 活用事例などをご紹介いただきました。

こうした社会情勢や技術動向を踏まえ、2026 年度の定期講習会テーマを「建築構造のゆくえ」としました。建築構造分野において今何が注目されているのか、そして今後どのような方向へ進んでいくのかについて、参加者の皆様とともに考える機会としたいと考えています。

近年、建築業界では、中東情勢をはじめとする国際情勢の変化に伴う資材価格の高騰や供給不安、さらには人材不足など、さまざまな課題への対応が求められています。また、AI 技術の急速な進展により、業務プロセスや設計手法は大きな変革期を迎えています。

本講習会では、「建築構造のゆくえ」をテーマに、BIM・DX の活用、脱炭素社会への対応、防災・レジリエンスの向上、既存ストックの活用など、建築構造分野が直面する課題と今後の展望について、各分野の第一線で活躍されている講師の方々にご講演いただきます。

建築構造分野が今後どのような方向へ進み、社会にどのような価値を提供していくのか。また、どのような技術や取組みがその未来を支えていくのかを広く共有することは、構造設計者のみならず、建築構造に携わる多くの技術者にとって有意義な機会となるものと考えています。本講習会が、建築構造のゆくえを展望し、これからの社会に求められる構造技術と構造技術者の役割を考える場となることを期待しています。

記

日 時：2026 年 9 月 19 日（土）13:00～17:30（配信開始 12:45）

会 場：オンライン講習会（Zoom ウェビナー）

内 容：「建築構造のゆくえ」 ※タイトルの名称等は変更する場合があります。

講演 1. BIM 図面審査から BIM データ審査へ向けて 武藤正樹 氏 (CONSTIT 代表)

講演 2. 脱炭素の基礎知識 前川元伸 氏 (JSCA 関西支部 脱炭素推進委員会)

講演 3. 震災・火災・水災・土砂災害など複合災害と今後の構造設計者への期待

久田嘉章 氏 (工学院大学教授)

講演 4. 国内外の地震災害と既存建築の耐震診断・耐震改修 前田匡樹 氏 (東北大学大学院教授)

参 加 費：JSCA 建築構造士、JSCA 名誉構造士：4,000 円

個人会員（正・一般・学術・名誉・学生）：6,000 円

賛助会員・非会員：8,000 円 ※全てテキスト代・送料込み

定 員：500 名

申込方法：別紙参照

申込締切日：9 月 14 日（月）

JSCA 建築構造士登録更新評価点※：25 点

建築 CPD 情報提供制度対象講習会※：申請予定

※所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。確実に付与されるようネット環境の事前確認を行い、通信障害等が発生しないようにしてください。承認された方は、CPD は CPD 情報システムより、評価点は JSCA ホームページの会員ページよりご確認ください。